



# 春の特別展が 開催されます。

時間と空間の  
交差点。  
クロスポイント

期間／平成19年 3月6日(火)～3月15日(木)  
午前10時～午後6時(6日のみ午後1時～)  
※12日(月)は休館日

会場／ビッグアイ6階  
市民ふれあいプラザ展示室

入場無料

## 特集 器の造形展

今から12,000年前、氷河時代が  
終わりを告げる頃、人類史上最高の  
発明品“縄文土器”が登場しました。  
以来、10,000年以上にわたる土器  
作りの中で、私たちの祖先は豪放な  
縄文土器や繊細な弥生土器、機能美  
に優れた須恵器などで様々な造形  
を創出してきました。

3月6日(火)から開催する展示会  
には、縄文時代から明治時代にか  
けての秀品を用意いたしました。この  
機会に器の美しさと、器に秘められ  
た色々な不思議を是非ご覧下さい。

日時 平成19年 3月6日(火)  
～3月15日(木)

午前10時～午後6時  
(※6日のみ午後1時～)  
※12日(月)は休館日です。

場所 ビッグアイ6階  
市民ふれあいプラザ展示室

## 器うつわの造形展

— 縄文土器からレトロな福良焼まで —



入場  
無料

会場と主な展示品をご案内します。  
会場を奥に進むほど、時代は古くなります。まずは、入口正面に見えます近代の染め付けからお楽しみ下さい。



**1** 明治の郷愁 福良焼 (19~20世紀)  
昔懐かしいコバルトブルーの壺や皿。赤津や三代、勢至堂の土を混ぜ合わせ、福良の窯で焼き上げた磁器です。



**2** まぼろしの桑野焼 (19世紀)  
明治の初め、桑野を開拓した旧二本松藩士の山田慶造氏が創業したと伝えられています。



**4** 鎮魂の器 (13世紀)  
阿久津町の高台から発掘された鉛色の壺は、鎌倉時代に中国から輸入されたものです。壺の中には、この地域をリードしていた有力者の遺骨(火葬骨)が納められていたようです。



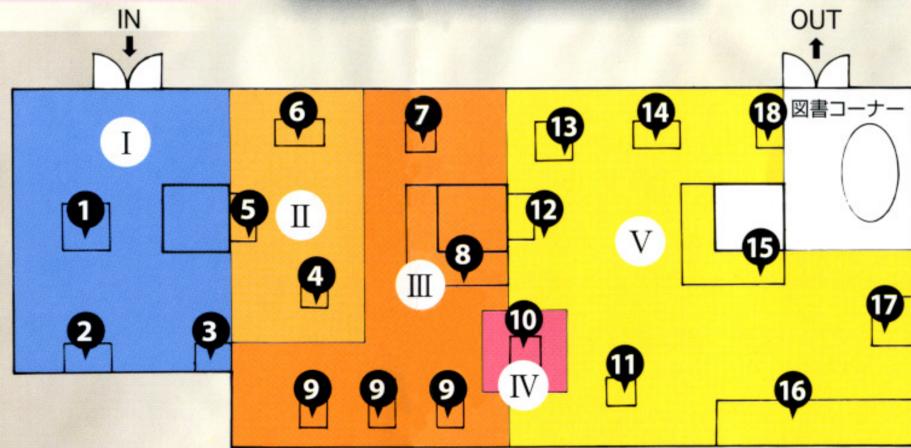
**5** 古瀬戸・黄瀬戸の趣 (14~16世紀)  
お酒を入れた瓶子や抹茶を楽しんだ碗は、室町~安土・桃山時代の優品です。愛知県の古窯で焼かれたものです。



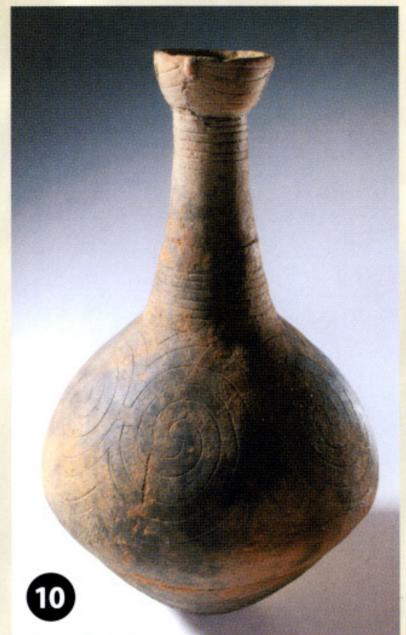
**7** 最古の陶器 (5世紀)  
コーヒーを入れたくなるような把手付きの小さなカップ。桜ヶ丘団地近くの古墳から出土しました。東北地方最古の陶器(須恵器)で、朝鮮半島から渡来した可能性もあります。

展示	展示タイトル	主な出土遺跡
I レトロな造形	① 明治の郷愁 福良焼	湖南町福良窯跡
	② まぼろしの桑野焼	富久山町妙音寺遺跡
	③ 江戸時代の焼き物	富久山町堂後遺跡 西田町仁戸内遺跡
II 古窯の造形	④ 鎮魂の器	阿久津町石橋A遺跡
	⑤ 古瀬戸・黄瀬戸の趣	田村町守山城跡 西田町馬場小路遺跡
	⑥ 大戸古窯の大甕	
III 古代の造形	⑦ 最初の陶器	田村町南山田遺跡
	⑧ 須恵器の風景	安積町不動内遺跡・東丸山遺跡、田村町東山田遺跡
	⑨ 変化する土師器	田村町山中日照田遺跡ほか

展示	展示タイトル	主な出土遺跡
IV 弥生の造形	⑩ 美のスタイル	大槻町柏山遺跡
	⑪ 燃える	西田町野中遺跡 富久山町妙音寺遺跡
	⑫ 叩く・灯す	富久山町曲木沢遺跡 山王館遺跡
V 縄文の造形	⑬ 注ぐ	熱海町びわ首沢遺跡 逢瀬町上納豆内遺跡
	⑭ 捧げる	田村町鴨打A遺跡 富久山町山王館遺跡
	⑮ 宿る・壊す	富久山町妙音寺遺跡・西田町町B遺跡、田村町鴨打A遺跡
	⑯ よみがえりの器	中田町倉屋敷遺跡・柳橋遺跡 田村町割田A遺跡
	⑰ 小さな器	田村町鴨打A遺跡 向田A遺跡ほか
	⑱ とんがり底	大槻町大槻城跡 富久山町西原遺跡



**8** 須恵器の風景 (7~9世紀)  
古代人が窯で焼き上げた須恵器は、液体の貯蔵に優れています。



**10** 美のスタイル (1世紀)  
弥生時代の器は美しい。端正な姿と緻密な紋様は、弥生人が持っていた美のこだわりを教えてください。



**18** とんがり底 (前5,000年)  
土器作りが始まってからの6,000年間は、底をとんがらせていました。地面に突き刺し、そのまわりで火を焚いていたからです。平たい底が多くなるのは、前4,000年あたりになってからのことです。



**16** よみがえりの器 (前1,700年)  
遺跡から、とても大きな土器が見つかりました。子どもの遺体を納めた棺のようです。でも、悲しむことはありません。縄文の子ども達は、土器に宿る神の力を借りて、母さんの処に戻れたようです。



**15** やど宿る (前2,500年)  
土器の多くは煮炊き用のナベです。ナベは、山野に住む生物の命を断ち、人々の食物にかえる不思議の器です。この殺生を司る神が、縄文土器には宿っています。



**12-2** 灯す (前2,500年)  
窓の開いたこの器。屋内用のランプと考えられています。



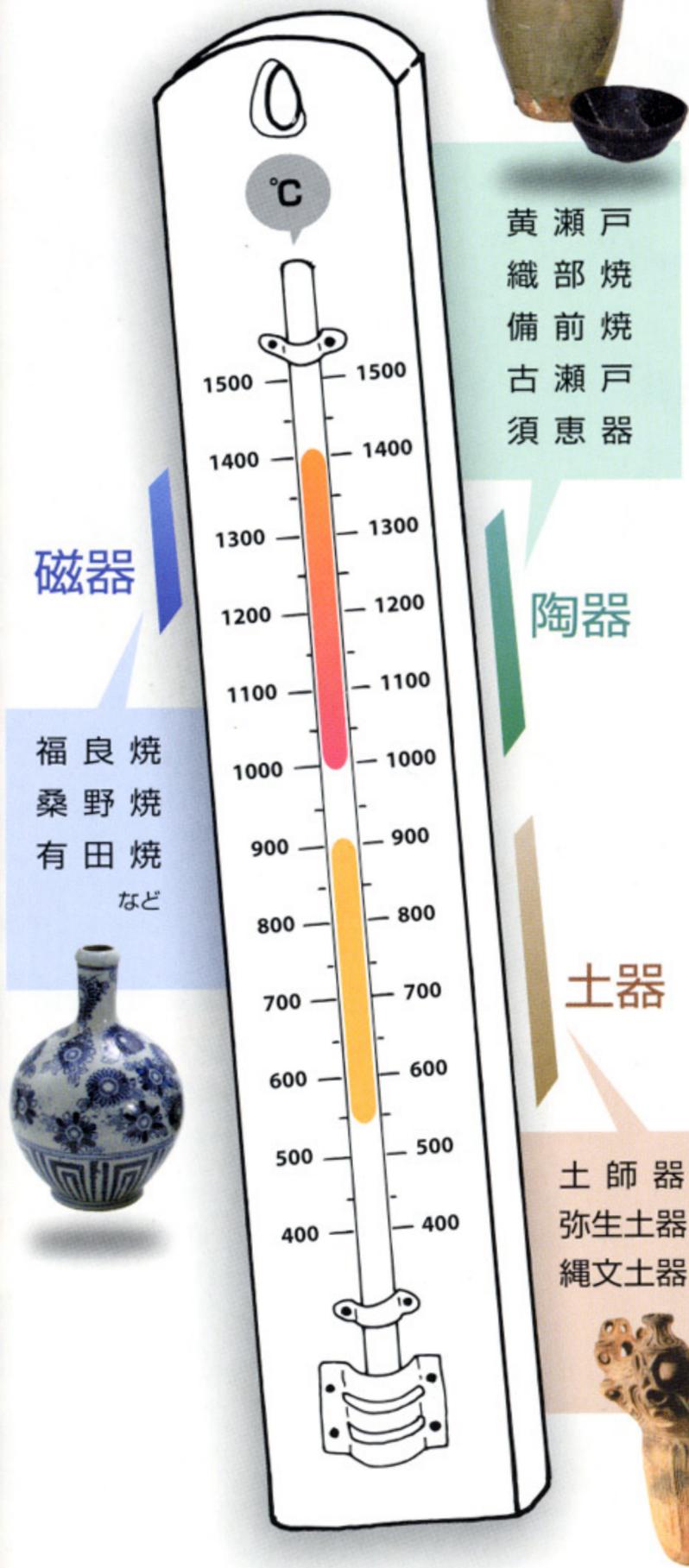
**12-1** 叩く (前2,200年)  
土器の口に皮をあて、ビーンと張れば縄文太鼓のできあがり。



# 歴史年表

主要な歴史年表と  
温度差でみた焼き物の分類図です。  
鑑賞ガイドにお使い下さい。

## 温度で見る焼き物



時代と年代	主なできごと	主な遺跡	展示	
旧石器時代	アフリカ大陸に人類登場 狩猟・採集をしながらの移動生活	弥明遺跡		
原始 縄文時代	草創期	氷期がゆるみ、土器が発明される	V	
	早期	定住生活始まり、海辺に貝塚できる		大槻城跡
	前期	平底の土器が一般化する		西原遺跡
	中期	各地に大きなムラができる		妙音寺遺跡
	後期	氷期に入り、気温が下がる		柳橋遺跡
晩期	亀ヶ岡文化が栄える	町B遺跡		
弥生時代	稲作始まり、鉄器が使われる	御代田遺跡	IV	
	・57 倭の奴国王が後漢に朝貢	柏山遺跡		
	卑弥呼が邪馬台国の女王になる	正直B遺跡		
古墳時代	大和国家の統一進み、各地に古墳	大安場古墳	III	
	大仙古墳(仁徳天皇陵)作られる	正直古墳群		
	・593 聖徳太子が摂政となる	山中日照田遺跡		
奈良時代	・710 都を平城京(奈良)に移す	清水台遺跡	III	
	・712 古事記が書かれる	東山田遺跡		
平安時代	・794 都を平安京(京都)に移す	東丸山遺跡	III	
	・894 遣唐使の廃止	不動内遺跡		
	末法思想の流行			
鎌倉時代	・1167 平清盛、太政大臣となる		II	
	・1192 源頼朝、征夷大将軍となる	荒井猫田遺跡		
南北朝~室町~戦国時代	・1274 元寇襲来(文永の役)	安子島城跡	II	
	・1338 足利尊氏、征夷大将軍となる	馬場小路遺跡		
	・1432 明と復交、勘合符貿易再開	篠川御所跡		
安土・桃山時代	・1467 応仁の乱始まる		I	
・1590 豊臣秀吉の全国統一完成	守山城跡			
江戸時代	・1603 徳川家康、征夷大将軍となる		I	
	・1639 鎖国完成			
	・1702 赤穂浪士の討ち入り	堂後遺跡		
明治時代	・1853 ペリーが浦賀に来航	福良窯跡	I	
	・1868 戊辰戦争始まる			
大正時代	・1889 大日本帝国憲法公布される		I	
	・1904 日露戦争勃発			
昭和時代	・1914 第一次世界大戦始まる		I	
	・1923 関東大震災起きる			
現代	・1941 第二次世界大戦始まる		I	
	・1946 日本国憲法公布される			
平成時代	・1972 沖縄が日本に復帰			
	・1995 阪神淡路大震災起きる			

焼き物の種類によって  
ずいぶんと  
焼く温度が違うじゃ。土器はたき火で焼けるが陶器や磁器は専用の窯が必要なんじゃよ!

